



TOBETSU SWEDEN MARATHON 2024

2024 10.20 SUN

自分らしく、
未来へ走り続けよう。



大会
ゲスト

高橋 尚子さん

エントリー受付中! 当別町民は1,000円引き!

募集要項 ※募集要項は変更になる場合がございます。

募集期間 2024年9月1日まで 募集人数 2,300名 ※期間内でも定員に達した場合は締切りいたします。

距離	種目 性別	年齢	参加料	スタート時間
ハーフマラソン 当別町民は 1,000円引き	男子 / 女子	高校生~29歳	6,500円	10:20
		30~39歳		
		40~49歳		
		50~59歳		
		60歳以上		
	ノンバイナリー*	高校生以上		
スウェーデン ヒルズコース (11.9km)	男子 / 女子	高校生~29歳	4,500円	10:40
		30~39歳		
		40~49歳		
		50~59歳		
		60歳以上		
	ノンバイナリー*	高校生以上		
ファンラン		小学生以上	2,000円	10:00
ペアラン		小学生以上*	3,000円	

※完走できるペア2人1組（未就学も小学生以上と一緒にあれば参加可。未就学のみペアは不可）
*ノンバイナリーとは、身体的性に関わらず自身の性自認や性表現を男性・女性にあてはめようとするセクシュアリティのことです。



お問い合わせ 当別スウェーデンマラソン2024事務局
TEL.011-211-8051 平日 10:00~17:00

大会情報・エントリーなど
オフィシャルサイトで
ご確認ください



ふるさと納税寄付金の 主な活用事業（令和5年度）

当別町ではふるさと納税制度を活用して、町出身の方や町を応援したいという方から心のこもったご寄付をいただき、様々なまちづくりに活用しています。
今回は、令和5年度の寄付金の活用事業を紹介します。

まちづくり

新築住宅購入支援金事業 5,960万円

町外からの移住による人口増加や町民の定住促進を図るため、令和4年1月1日以降に当別町に新築住宅を購入された方へ「新築住宅購入支援金」を交付しました。
令和5年度は、80世帯に交付し、対象者214人のうち約8割となる178人が町外からの転入者でした。

多くの方が転入し、人口の社会増に繋がっています。
この他、まちづくり分野では、企業立地促進事業、医療機関誘致事業などに活用しています。



町民生活

除排雪の推進 8,000万円

快適な町民生活、産業・経済活動や安心安全な道路交通を確保するため、冬期間において除排雪を実施したほか、当別町除排雪連絡協議会や除排雪受託者と連携を図りながら、効率よく効果的な除排雪作業を実施しました。
この他、町民生活の分野では、
・公園の維持補修
・防災資機材等の備蓄
などに活用しています。

教育・子育て

小中一貫教育推進事業 1,542万円

小中一貫教育をスタートさせて6年。全国学力テストにて全国平均を超え、近隣市町村でもトップクラスの成績となりました。先進性の高い教育で子どもたちの未来を広げています。

放課後児童対策事業 (子どもプレイハウス)

1,360万円

サービスの向上を図るため、令和4年4月1日から運営委託を行い、民間事業者の持つ運営ノウハウを活かした事業を実施しています。

ICTを活用した児童の入退室管理や保護者との連絡など、子どもと保護者が安心して利用できる施設の運営を行っています。

こども医療費の助成 979万円

0歳から小学校卒業までの通院費は初診料のみ、0歳から高校卒業までの入院費は無料とする子ども医療費の助成をしました。

この他、教育・子育て分野では、
・当別町一体型義務教育学校建設事業
・教育情報システム運用事業
・スクールバス運営事業
などに活用しています。



合計
8億9,592万527円を
44事業で活用

※一般寄付を含みます。なお、金額記載している事業費は、総事業費のうち「ふるさと納税寄付金分」のみの金額です。

ふるさと納税制度で町の財源が増え、町の発展のために積極的な事業展開を進めることができます。また、特産品を全国の人に届けることで、町のPRになるとともに町内に大きな経済効果が生まれています。

この制度は、町外在住の方が対象になりますので、町民の皆様には町外にお住まいのご親戚やご友人等に、当別町ふるさと納税をぜひご紹介ください。

■問合せ

セールス戦略課
ふるさとプロモーション係
(☎ 23 - 3042)

イベントを通して当別町の魅力を広く発信したい

クルベラ・クラブ・デ・フットボル 代表

しげと
宮本 維斗



ここに書ききれないエピソードや写真は当別町ホームページ「現代を生きる^{プラス}」でご覧ください。



サッカークラブ（クルベラ CF）の代表として子どもたちを指導し、昨年から当別町でサッカーイベントを開催する宮本維斗さんにお話を伺いました。

サッカーのオールラウンダー

サッカーは日韓ワールドカップの開催や、サッカー観戦が好きだった親の影響から始めました。小学1年生の時に地元新十津川町のチームでサッカーを始め、大学生の時まで選手としてプレイしていました。そのキャリアの中で、ゴールキーパーを含む、すべてのポジションを経験したこと、また、チームの中心プレイヤーの立場やベンチメンバーの立場を経験したことが、現在の指導者としての幅につながっていると思います。

指導者として

人に教えることが好きだったので、高校卒業後は指導者としての知識やスキルを身に着けるため、愛知県の大学に進学しました。

また、在学中にリアルマドリード（日本校）でアシスタントコーチとしてアルバイトを始め、海外のメソッドを学びながら、トレーニングメニューの考案や選手への

指導を行い、最終的には現場運営責任者まで務めました。

その後、札幌市でクルベラ CF を設立するため地元に戻り、移住先を探している中で、自身が地方出身であり、娘の子育てや札幌市へのアクセスなどを考えた結果、当別町が最適だと判断し、2023年3月に移住をしました。

自身で考える力

現在は札幌市内の認定こども園で、園児と小学生を相手に「細かく指示をするのではなく、選択肢を与えて主体的に行動させる」ことを基本に指導しています。サッカーはコンマ数秒で判断を求められます。そのため、認知・分析・判断・実行までの流れを速く、かつ正確にできるように指導しており、例えば「パスは右と左どちらが良いか」を子どもたちに問い、自分自身で考えさせて練習をしています。また、練習以外の部分も大切にしており、例えば、忘れ物をしてしまったとしても怒るのではなく、「次はどのようにすれば忘れないようにできるか」を子どもたちと一緒に考えるようにしています。このように、実社会で役立つ学びを教えています。

当別が注目されるきっかけに

当別町は広大な土地と適度な気候、美味しい食材、札幌へのアクセスなど、非常に高いポテンシャルを持つ地域だと思います。前職の時に、スペインのサンセバスチャンで開催されるサッカーの国際大会「ドノスティーカップ」に毎年選手を引率していました。このイベントには世界各国から約2万人が集まり、国際交流と地域おこしが行われていました。これを当別町でもやりたいと、昨年、太美でクルベラ CF の関係者を対象に「親子サッカーイベント」を開催したところ、約400人が集まりました。今年は新たにサッカー大会を企画し、クルベラ CF 以外にも、道内外のチームを集めて開催します。その中で、大会に出場する選手だけではなく、そのご家族、地域の方々がサッカーを通して豊かになれるイベントを創りたいと思っています。（詳細は本誌 23P）そのほかの目標として、当別町にサッカー場をつくり、そこを中心に高齢者施設やカフェなどが集まり、老若男女が交流できるような環境や文化を創ってきたいです。